

インタレストグループ1

日時：2022年6月11日（土）8:30-10:00

【Youは何しに学会へ？】

＜企画責任者＞ 吉本 尚（筑波大学医学医療系 地域総合診療医学）

座 長 村山 愛 （君津中央病院総合診療科）

司 会 徳田 嘉仁 （双樹会守上クリニックよしき往診クリニック
滋賀家庭医療学センター）

演 者 三浦 太郎 （富山市まちなか診療所）

演 者 宇井 睦人 （湘南鎌倉総合病院 総合診療科/緩和ケアチーム）

演 者 福室 自子 （杏林大学医学科）

演 者 緒方 理子 （産業医科大学医学部医学科）

演 者 西郡 椋也 （大分大学医学部医学科）

演 者 柏田 芙実佳 （長崎大学医学部医学科）

演 者 長尾 拓海 （岡山協立病院初期研修医）

演 者 中尾 光希 （島根大学医学部医学科）

演 者 涌坪 遼 （琉球大学医学部医学科）

演 者 中島 梨沙 （神戸大学医学部医学科）

演 者 宇高 彩 （旭川医科大学医学部医学科）

演 者 酒井 郁弥 （琉球大学医学科）

演 者 清原 翔徳 （長崎大学医学科）

演 者 吉野 藍 （国際医療福祉大学医学科）

演 者 細田 昇平 （埼玉医科大学医学部医学科）



第13回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会
The 13th Annual Conference of Japan Primary Care Association

2022年6月11日(土)～12日(日) | パシフィコ横浜

<企画概要>

学術集会にいらっしゃる学生・研修医は毎年約150人。夏セミスタッフで家庭医療学に燃えている人、なんとなく大学からつれてこられた人など、参加のきっかけは様々でしょう。総合診療に関心を持った理由やその程度も違うと思います。そんな皆様を対象に、久しぶりに対面で会える貴重な機会を活かして、オンラインではできないようなことをしたいと思います。全国で積極的に活動する13人の医学生・研修医メンバーとともに、頭と体をフルに使う企画をご用意しています。学生研修医の皆さんの可能性を広げられる、興味関心を高め新しい気づきを得られるような場を用意してお待ちしております。



第13回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会
The 13th Annual Conference of Japan Primary Care Association

2022年6月11日(土) ~ 12日(日) | パシフィコ横浜

インタレストグループ2

日時：2022年6月11日（土）10:15-11:45

【診療所家庭医×病院総合診療医：リサーチ Special Interest Groups

～セッティングの垣根を越えて】

＜企画責任者＞ 金子 惇（横浜市立大学）

- 司 会 金子 惇（横浜市立大学大学院データサイエンス研究科
ヘルスデータサイエンス専攻）
- 演 者 原田 侑典（獨協医科大学病院 総合診療科）
- 演 者 藤沼 康樹（CFMD 東京）
- 演 者 綿貫 聡（東京都立多摩総合医療センター 救急・総合診療センター）
- 演 者 岩浪 悟（東京都立多摩総合医療センター 救急・総合診療センター）
- 演 者 青木 拓也（東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター
臨床疫学研究部）
- 演 者 浜野 淳（筑波大学 医学医療系臨床医学域
（総合診療医学・緩和医療学））
- 演 者 鋪野 紀好（千葉大学医学部附属病院 総合診療科）
- 演 者 小坂鎮太郎（練馬光が丘病院 総合診療科）
- 演 者 吉田絵理子（東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター
臨床疫学研究部、川崎医療生活協同組合 川崎協同病院 総合診療科）
- 演 者 水本 潤希（東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター
医学教育学部門）
- 演 者 弓野 綾（東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室、
川崎医療生活協同組合川崎セツルメント診療所）
- 演 者 西岡 大輔（大阪医科薬科大学 研究支援センター医療統計室、
南丹市国民健康保険美山林健センター診療所）

<企画概要>

世界家庭医療学会や North American Primary Care Research Group ではプライマリ・ケアの研究を進めるために Special Interest Group と呼ばれる同じテーマに興味を持つ者同士が情報交換をしたり、共同研究を行ったりするためのグループがあります。 わたし達は日本のプライマリ・ケア領域でもその様なグループを作っていきたいと考えており、今回の学術大会では「冒険の酒場」の様に仲間を作り、コラボレーションする機会を提供します。そのために、①インフォメーションブース（どのブースに行けばいいかわからない人のための相談/コラボする人や情報交換をしたい人のためのブース）②トピックブース（へき地医療/multimorbidity/緩和ケア/SDH/医学教育/診断エラー/患者安全などのトピックごとに実際にその研究を行っているメンバーがいて、これから取り組むべき課題などを共有するブース）を用意します。参加者はそれぞれのブースを回りながら、自分の興味がどこにあるか、どこに仲間がいるかを探してください！



第13回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会
The 13th Annual Conference of Japan Primary Care Association

2022年6月11日(土) ~ 12日(日) | パシフィコ横浜

インタレストグループ3

日時：2022年6月11日（土）14:45-16:15

【pharm G 2022 - presented by 千葉大総診】

<企画責任者> 坂口 眞弓（みどり薬局）

司 会 坂口 眞弓 （みどり薬局）

<企画概要>

医師と薬剤師の専門職連携協働！「医学と薬学」の水平統合、「基礎と臨床」の垂直統合によって、軽症、重症、老若男女を問わず、あらゆる患者に対応できるジェネラリストを育てるためのインタレストグループを企画しました。2019年東京、2021年学術大会で開催した pharm G が、今回さらにパワーアップして登場します。外来、病棟、窓口業務など日常診療で起こる問題を解決すべく、薬剤師と医師のスキルの水平統合に、薬理学や生理学を垂直統合させたワークショップを Team-based learning 形式で開催します。対象は医師・薬剤師中心ですが、看護師、学生、総合診療に興味がある方はどなたでも参加可能です。沢山の方のご参加をお待ちしております！



第13回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会
The 13th Annual Conference of Japan Primary Care Association
2022年6月11日(土)～12日(日) | パシフィコ横浜

インタレストグループ4

日時：2022年6月11日（土）16:30-18:00

【気候変動とプライマリケア】

<企画責任者> 佐々木隆史（医療生協こうせい駅前診療所）

司会・座長 佐々木隆史（医療生協こうせい駅前診療所）

ファシリテーター 寺澤 佳洋（口之津病院）

ファシリテーター 寺本 敬一（ふくちやま協立診療所）

ファシリテーター 梶 有貴（国際医療福祉大学総合診療科）

ファシリテーター 長崎 一哉（水戸協同病院総合診療科）

<企画概要>

2030年までCO₂排出量を2013年度比46%減にすることを約束した日本。日本のCO₂の約5%を排出しているといわれている医療界も他人事ではありません。COVID-19が落ち着いたころには、日本の医療界でも重点を置いたテーマになるでしょう。社会との接点を多く持つプライマリケア医は、第一に動きはじめやすい立ち位置にいます。このインタレストグループでは、イギリスのCentre for sustainable Healthcareで学びながらFacebook等で情報発信をして、共に学んで行動を起こしている医師と、関心を持っている皆様とで、情報提供をしながらディスカッションしていきたいと思えます。

インタレストグループ5

日時：2022年6月12日（日）8:15-9:45

【〈若手医師部門指導医スキルアップ企画シリーズ〉 臨床指導ブートキャンプ

～ 若手指導医のスキルアップ、まずはここから！3選 ～】

<企画責任者> 櫻井 広子（済生会岩泉病院、医局につぼん、

みちのく総合診療医学センター）

講師 櫻井 広子（済生会岩泉病院、医局につぼん、みちのく総合診療医学センター
若手医師支援部門FDプロジェクトチーム（FDGs））

共同講師 藤谷 直明（大分大学医学部総合診療総合内科学講座
若手医師支援部門FDプロジェクトチーム（FDGs））

共同講師 豊田 喜弘（喜多方市地域・家庭医療センター /
福島県立医科大学医学部地域・家庭医療学講座
若手医師支援部門FDプロジェクトチーム（FDGs））

共同講師 黒木 史仁（北海道家庭医療学センター（まどかファミリークリニック）
若手医師支援部門FDプロジェクトチーム（FDGs））

共同講師 岩浪 悟（東京都立多摩総合医療センター救急・総合診療センター
若手医師支援部門FDプロジェクトチーム（FDGs））

共同講師 村山 愛（横芝光町立東陽病院 若手医師支援部門FD
プロジェクトチーム（FDGs））

共同講師 松島 和樹（医療法人 川崎病院 総合診療科 若手医師支援部門F
プロジェクトチーム（FDGs））

<企画概要>

良い指導医になるための指導を受けられない／受ける機会がない・・・そんな皆さん！若手医師部門メンバーと一緒に、スキルアップしてみませんか？ 専攻医の後期や若手指導医は、組織内で上や下へ配慮しながら機転を利かせた役割が求められるハズ・・・！（上：所属長、上級指導医など。下：後輩スタッフ、専攻医、研修医など。）いわゆる『中間層』『ミドル』としてよく出会う「現場のお悩みあるある事例」から、臨床教育やマネジメントのエッセンスを学



第13回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会
The 13th Annual Conference of Japan Primary Care Association
2022年6月11日(土)～12日(日) | パシフィコ横浜

びましょう。上司・部下・学習者への3者それぞれとの関わり方に役立つ内容を用意しています。①上司との上手な付き合い方（ボスマネジメントなど）、②部下へのケア・サポート、③関わりの少ない学習者への教育（コーチングなど）さらに、皆さんとのワークや意見交換などを通じて、ライブ感のある学びや参加者同士の交流も楽しめる企画を予定しています。スキルアップに悩む若手指導医の皆さま、奮ってご参加ください！



第13回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会
The 13th Annual Conference of Japan Primary Care Association

2022年6月11日(土) ~ 12日(日) | パシフィコ横浜

インタレストグループ6

日時：2022年6月12日（日）12:30-14:00

【プライマリ・ケアにおける産後の包括的ケアの実践】

<企画責任者> 鳴本敬一郎

（静岡家庭医養成プログラム（浜松医科大学総合診療プログラム）／
森町家庭医療クリニック／浜松医科大学産婦人科家庭医療学講座）

司 会 鳴本敬一郎

（静岡家庭医養成プログラム（浜松医科大学総合診療プログラム）／
森町家庭医療クリニック／浜松医科大学産婦人科家庭医療学講座）

演者・ファシリテーター 遠藤 美穂

（静岡家庭医養成プログラム（浜松医科大学総合診療プログラム）／
森町家庭医療クリニック）

ファシリテーター 岩田 智子 （浜松医科大学産婦人科家庭医療学講座）

ファシリテーター 城向 賢 （菊川市立総合病院産婦人科）

ファシリテーター 山田 智子 （菊川市立総合病院産婦人科）

ファシリテーター 金子 惇 （横浜市立大学医学群データサイエンス研究科

ヘルスデータサイエンス 専攻）

ファシリテーター 井上真智子

（静岡家庭医養成プログラム（浜松医科大学総合診療プログラム）／
浜松医科大学地域家庭医療学講座）

<企画概要>

産後女性の健康ニーズは多様であり、時間の経過とともに大きく変化する。また、そのニーズは、妊娠から分娩に至るストーリー、そして乳幼児、パートナー、家族、地域、社会との流動的な関係性など心理社会的なコンテクストを踏まえて捉える必要があり、産後の包括的ケアの提供は大きな課題となっている。プライマリ・ケア（PC）チームはケアの調整、統合されたケア、家族志向のケア、予防医学、複雑困難事例のケア、メンタルヘルスといった枠組みについて



第13回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会
The 13th Annual Conference of Japan Primary Care Association
2022年6月11日(土)～12日(日) | パシフィコ横浜

て理解し実践を積んでおり、産後ケアではそれらを統合した視点とスキルが必要となることから、PC チームが産後の包括的ケアに積極的に関わっていくことが期待される。しかし本邦では、欧米諸外国とは異なり、周産期メンタルヘルスを含め産後ケアにおける PC チームの役割は明確に言及されていない。本セッションでは、PC での産後の包括的ケアの実践事例について共有し、今後の提供モデルについて考察を深める場を設けたい。



第13回 日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会
The 13th Annual Conference of Japan Primary Care Association

2022年6月11日(土) ~12日(日) | パシフィコ横浜